

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 055	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 海岸養浜工事が漁場環境や水産資源に及ぼす影響について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 近年、浸食による砂浜の消失が問題視されており、砂浜海岸浸食対策の一つとして養浜事業が行われている。 ○ しかし、養浜事業を実施した海域において、底質の変化、漁獲量の変動等の事例があり、地元漁業者は、養浜事業が漁場環境や水産資源に影響を及ぼすことお懸念している。 ○ 相模湾の漁場環や水産資源の保全、回復の取組みの一環として、養浜事業が周辺海域の漁場環境や水産資源に及ぼす影響について把握する必要がある。 ○ そこで、養浜事業を実施している海岸地先において、海底の底質、底棲生物等の状況について中～長期にわたる調査を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 養浜環境影響調査			
対応の内容等 現在、土木事務所からの依頼により、養浜事業が漁場環境に及ぼす影響を解明するために、底質や底生生物等を対象とした調査を継続しています。本調査は平成20年度から茅ヶ崎沿岸で、平成21年度から小田原市国府津沿岸で、平成24年度から平塚～二宮沿岸で、それぞれ実施しておりますが、これまでの結果では養浜工事の影響による環境悪化は確認されませんでした。そのため、当試験場による調査は令和7年度で終了とし、令和8年度以降は各土木事務所が民間会社に委託して実施する調査結果について、協議会への参加等、必要に応じ専門的な立場から助言・指導を行っていきます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			